

第29回BA運営委員会の開催結果について

文部科学省 研究開発局
研究開発戦略官（核融合・原子力国際協力担当） 付

第29回BA運営委員会の概要

日程： 令和4年4月28日（木）

場所： 国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構 那珂研究所

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、茨城県那珂市の他、各地をオンラインで繋ぐハイブリッド形式で開催

出席者：

（日本）林 孝浩 文部科学省大臣官房審議官（研究開発局担当） ほか

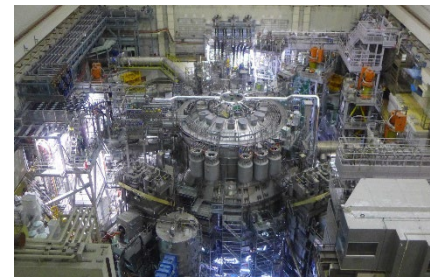
（欧州）マッシモ・ガリバ 欧州委員会エネルギー総局副総局長 ほか

主な議題：

1. 3事業の進捗状況の報告

- ①国際核融合材料照射施設の工学実証・工学設計活動（IFMIF/EVEDA）事業
- ②国際核融合エネルギー研究センター（IFERC）事業
- ③サテライト・トカマク計画（STP）事業

2. その他（青森県及び六ヶ所村によるホストサポート状況の紹介、次回運営委員会の開催時期・場所等）



BA運営委員会では、IFMIF/EVEDA、IFERC、サテライト・トカマク計画の3事業について、事業の進展を確認するとともに、今後の作業計画等について議論。

1. 各事業の進捗

① 国際核融合材料照射施設の工学実証・工学設計活動（IFMIF/EVEDA）事業

- 高周波四重極（RFQ）加速器の重水素ビームによる試験（フェーズB+試験）は着実に進展しており、欧州の研究者の遠隔支援により、主要な計測システムの検証を完了。
- ビーム運転と並行し、定格電圧の80%（106kV）でのRFQ連続調整運転を達成。

② 国際核融合エネルギー研究センター（IFERC）事業

- 計算機シミュレーションセンター（CSC）、原型炉設計及び研究開発、遠隔実験センター（REC）活動の分野が順調に進展。
- RECとITER間のライブモニタリング試験が開始。

③ サテライト・トカマク計画（STP）事業（JT-60SA）

- 2021年3月のEF1コイル事象を受け、機器の改良や再発防止のための試験等が進んでいることや、補修作業終了後にJT-60SAの統合試運転を再開することを確認。
- この過程で得られた経験と知識が、ITER、DEMO（原型炉）及びその他の核融合実験装置に貢献することを確認。

2. その他

- 六ヶ所サイトにおける欧州研究者、技術者及びその家族への高い水準の生活支援・教育支援に対する青森県及び六ヶ所村の多大な努力に感謝の意を表明。
- 次回第30回BA運営委員会は、2022年12月15日にイタリア・パドヴァにて開催予定。